

看護師の方の声を反映させた
『スタッフ用手洗器』 2月1日(水)新発売
清潔性や手の洗いやすさにこだわった新設計

TOTOは、病院スタッフ(看護師)の方の声を反映させ、清潔性や手の洗いやすさにこだわった新設計の『スタッフ用手洗器』を2月1日(水)に発売します。

癒しのトイレ研究会(※1)が、全国の病院の看護師に行ったアンケート調査を元に、問題点としてあがった「水が周囲にはねる」「ボウル面が小さい」といった声を設計に反映させました。

深さのある、周囲に水はねしにくいボウル形状により、従来品とくらべ、手洗いの水はね量を約60%低減できます。

また、ボウルのふちを薄くすることで、ボウル内の手洗い空間も確保し、深くて広い動作空間で手首までしっかりラクに洗えます。

さらに今回、アンケート調査結果の中の、1日に何十回も手洗いを行う看護師が抱える「腰に負担がかかる」といった声にも注目しました。新設計の手洗器では、床からのあふれ面高さ850mmの設置高さにする事で、ラクな姿勢で手洗いができます。

形状の工夫や設置高さの提案により、看護師が抱える様々な問題点を設計に反映させた、清潔性や手の洗いやすさにこだわった、医療施設に最適な商品です。



【スタッフ用手洗器 セット希望小売価格】
169,800円～(税抜/工事費別途)
(セット内訳:本体、その他付属品)

設置イメージ写真

写真の高解像度データをご用意しています。

下記URLよりTOTOホームページ「ニュースリリース欄」へアクセスいただき該当ニュースリリースページよりダウンロードいただけます <http://www.toto.co.jp/press/>

【商品の主な特長】

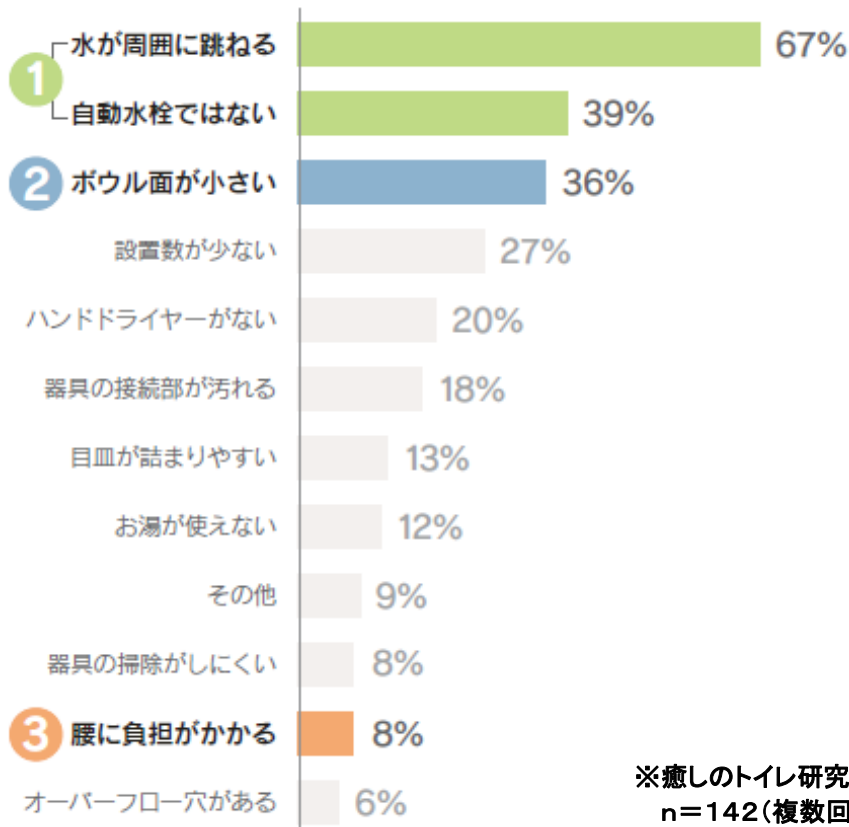
- ① 深さのあるボウル形状で、手洗いの水はね量を従来品から約60%低減
- ② 従来より深くて広いボウル形状により、手首までしっかりラクに洗うことが可能に

開発経緯

癒しのトイレ研究会が、全国の病院の看護師142人に行った、スタッフ用の手洗器の問題点についての調査では、「水が周囲にはねる」「ボウル面が小さい」といった声の問題点としてあがりました。そこで、形状を工夫し、水はねを軽減しながら手首までしっかり洗える手洗い器を開発しました。

さらに今回、アンケート調査結果の中の、1日に何十回も手洗いを行う看護師が抱える「腰に負担がかかる」といった声にも注目しました。TOTOのユニバーサルデザイン研究所で腰にかかる負担を検証し、新設計の手洗器について最適な設置高さの提案も行いました。

スタッフ用の手洗器の問題点についてお答えください

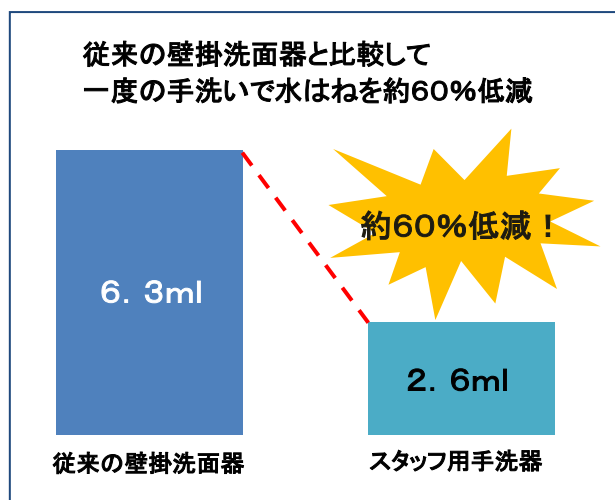


※癒しのトイレ研究会調べ(2011)
n=142(複数回答)

商品の主な特長

①深さのあるボウル形状で、手洗いの水はね量を従来品から約60%低減

深さのある、周囲に水はねしにくいボウル形状により、従来の壁掛洗面器とくらべて、一度の手洗いで水はね量を約60%低減できます。



②従来より深くて広いボウル形状により、手首までしっかりラクに洗うことが可能に

ボウルのふちを薄くすることで、コンパクト設計でありながら、ボウル内の手洗い空間も確保し、深くて広い動作空間で手首までしっかりラクに洗えます。



手首までの手洗いイメージ

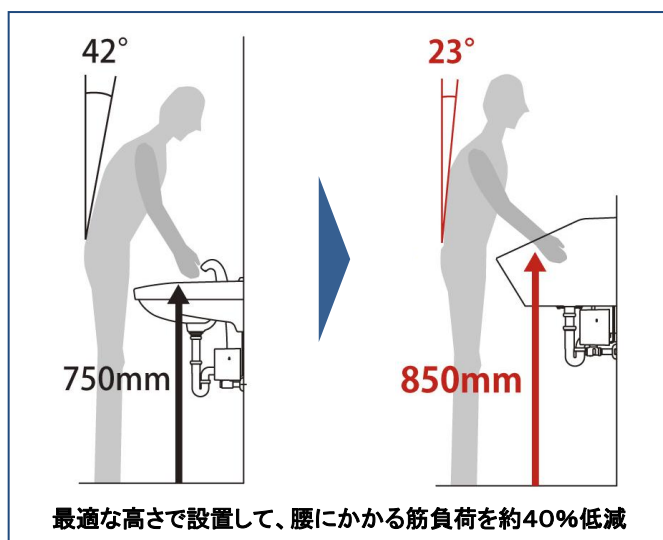
新設計の手洗器のおすすめ設置高さ

今回、アンケート調査結果の中の、1日に何十回も手洗いを行う看護師が抱える「腰に負担がかかる」といった声にも注目しました。洗いやすく、腰にかかる負担も軽減させるには、形状の工夫だけでなく、設置の高さも重要です。

そこで、新設計の手洗器では、床からのあふれ面高さ850mmで設置することで、ラクな姿勢で手洗いができることをTOTOのユニバーサルデザイン研究所で検証しました。床からのあふれ面高さ750mmだった従来の壁掛洗面器と比較して、腰の曲がる角度が約42度から23度になるため、手を自然に差し出した姿勢で手洗いができ、腰にかかる筋負荷を約40%低減することができます。



あふれ面高さイメージ



(※1)癒しのトイレ研究会

癒しのトイレ研究会は、医療福祉施設のトイレを癒しの視点から見直し、患者さんや医療スタッフにとって清潔で使いやすく、快適なトイレ空間の実現と普及促進に向けて、調査・研究・啓発活動を行うことを目的に、2000年に発足しました。会員はトイレ空間を構成する機器・建材・部材・洗剤メーカーのTOTO(株)、(株)岡村製作所、アイカ工業(株)、(株)タジマ、ディバーシー(株)の5社で構成しています。